

四半期報告書

(第69期第1四半期)

自 2020年1月1日

至 2020年3月31日

株式会社ナカニシ

栃木県鹿沼市下日向700番地

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
3 経営上の重要な契約等	3

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(5) 大株主の状況	4
(6) 議決権の状況	5
2 役員等の状況	5

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
2 その他	13

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年5月11日
【四半期会計期間】	第69期第1四半期（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）
【会社名】	株式会社ナカニシ
【英訳名】	NAKANISHI INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 中西 英一
【本店の所在の場所】	栃木県鹿沼市下日向700番地
【電話番号】	(0289)64-3380（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 横山 治男
【最寄りの連絡場所】	栃木県鹿沼市下日向700番地
【電話番号】	(0289)64-3380（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 横山 治男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第1四半期 連結累計期間	第69期 第1四半期 連結累計期間	第68期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	8,269,679	7,296,533	35,418,516
経常利益 (千円)	2,132,600	555,043	9,841,247
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 (千円)	1,613,234	442,220	7,102,553
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,840,071	△704,402	8,108,975
純資産額 (千円)	67,408,649	70,408,550	72,499,269
総資産額 (千円)	72,126,233	75,234,565	77,536,889
1株当たり四半期（当期）純利益 (円)	18.62	5.10	81.97
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益 (円)	18.58	5.09	81.80
自己資本比率 (%)	93.2	93.3	93.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、今後の推移状況を注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国発の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う都市封鎖等により、経済活動は大きく停滞し、大減速しております。

一方、国内についても、旅行、外食などのサービス消費を中心に景気は大きく落ち込んでおります。

このような事業環境の中、売上高については、歯科製品関連事業、工業製品関連事業及びその他事業の全ての事業について、減収となりました。また、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益についても減益となりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、7,296,533千円（前年同期比11.8%減）、営業利益は、1,109,519千円（前年同期比38.7%減）、経常利益は、555,043千円（前年同期比74.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、442,220千円（前年同期比72.6%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（歯科製品関連事業）

歯科製品関連事業の売上高については、新型コロナウイルスの影響による都市封鎖、展示会の延期及び中止、歯科医院の閉鎖及び営業自粛等により、国内、欧州、北米及びアジア等ほとんどの地域において前年同期に比べて減収となりました。利益面についても、前年同期に比べて減益となりました。

この結果、売上高は、6,203,856千円（前年同期比11.2%減）、セグメント利益は、1,885,717千円（前年同期比27.9%減）となりました。

（工業製品関連事業）

工業製品関連事業の売上高についても、新型コロナウイルスの影響による都市封鎖等、経済活動の停滞により、国内、欧州、北米及びアジア全ての地域において前年同期に比べて減収となりました。利益面についても、前年同期に比べて減益となりました。

この結果、売上高は、747,243千円（前年同期比19.8%減）、セグメント利益は、270,685千円（前年同期比21.2%減）となりました。

（その他事業）

修理等サービスであるその他事業においては、売上高は、345,433千円（前年同期比1.8%減）、セグメント利益は、33,762千円（前年同期比3.7%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産の残高は、75,234,565千円で、前連結会計年度末に比べ2,302,323千円減少いたしました。主な減少は、受取手形及び売掛金1,173,877千円、投資有価証券1,046,286千円であります。

負債の残高は、4,826,015千円で、前連結会計年度末に比べ211,604千円減少いたしました。主な増加は、買掛金212,688千円であります。主な減少は、繰延税金負債209,444千円、未払法人税等104,832千円であります。

純資産の残高は、70,408,550千円で、前連結会計年度末に比べ2,090,719千円減少いたしました。主な減少は、利益剰余金944,095千円、その他有価証券評価差額金594,854千円、為替換算調整勘定551,382千円であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、609,860千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数 (株)
普通株式	375,000,000
計	375,000,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数 (株) (2020年3月31日)	提出日現在発行数 (株) (2020年5月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	94,259,400	94,259,400	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	94,259,400	94,259,400	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日	—	94,259,400	—	867,948	—	1,163,548

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 7,614,600	—	単元株式数 100株
完全議決権株式 (その他)	普通株式 86,636,600	866,366	同上
単元未満株式	普通株式 8,200	—	同上
発行済株式総数	94,259,400	—	—
総株主の議決権	—	866,366	—

(注) 1. 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式7株が含まれております。

② 【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
(自己保有株式) 株式会社ナカニシ	栃木県鹿沼市下日向 700番地	7,614,600	—	7,614,600	8.08
計	—	7,614,600	—	7,614,600	8.08

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,432,235	28,232,261
受取手形及び売掛金	5,184,673	4,010,795
有価証券	942,853	835,942
金銭の信託	4,003,802	3,716,301
商品及び製品	4,549,919	5,248,250
仕掛品	3,585,640	3,314,067
原材料及び貯蔵品	2,402,554	2,514,188
その他	1,085,808	927,922
貸倒引当金	△88,340	△84,632
流動資産合計	50,099,147	48,715,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,188,340	15,221,184
機械装置及び運搬具	6,142,198	6,462,406
工具、器具及び備品	4,682,643	4,716,581
土地	1,994,942	1,984,420
建設仮勘定	384,891	258,518
減価償却累計額	△12,729,714	△13,079,215
有形固定資産合計	15,663,301	15,563,896
無形固定資産		
ソフトウェア	395,800	373,436
ソフトウェア仮勘定	135,128	180,423
のれん	200,031	172,527
その他	235,203	211,102
無形固定資産合計	966,163	937,490
投資その他の資産		
投資有価証券	8,297,337	7,251,051
関係会社株式	64,128	64,128
保険積立金	2,157,386	2,164,283
退職給付に係る資産	14	—
繰延税金資産	125,665	394,027
その他	387,453	363,472
貸倒引当金	△223,709	△218,882
投資その他の資産合計	10,808,276	10,018,080
固定資産合計	27,437,741	26,519,467
資産合計	77,536,889	75,234,565

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	762,096	974,784
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	475,483	370,650
賞与引当金	368,900	567,000
その他	2,408,061	2,114,918
流動負債合計	4,114,541	4,127,354
固定負債		
退職給付に係る負債	311,383	311,275
繰延税金負債	405,866	196,421
その他	205,828	190,965
固定負債合計	923,078	698,661
負債合計	5,037,620	4,826,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,171,507	1,171,507
利益剰余金	73,666,853	72,722,757
自己株式	△5,602,470	△5,602,470
株主資本合計	70,103,839	69,159,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,600,239	2,005,385
為替換算調整勘定	△414,731	△966,113
その他の包括利益累計額合計	2,185,508	1,039,271
新株予約権	207,481	207,481
非支配株主持分	2,440	2,053
純資産合計	72,499,269	70,408,550
負債純資産合計	77,536,889	75,234,565

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	8,269,679	7,296,533
売上原価	3,185,438	3,176,994
売上総利益	5,084,240	4,119,538
販売費及び一般管理費	3,273,030	3,010,019
営業利益	1,811,210	1,109,519
営業外収益		
受取利息	99,214	39,985
受取配当金	3	3
金銭の信託運用益	182,521	—
補助金収入	56,017	31,018
雑収入	34,808	50,817
営業外収益合計	372,565	121,825
営業外費用		
支払利息	432	3,977
金銭の信託運用損	—	255,817
為替差損	42,715	411,424
雑損失	8,027	5,082
営業外費用合計	51,175	676,301
経常利益	2,132,600	555,043
特別損失		
固定資産売却損	201	—
固定資産除却損	4,050	0
特別損失合計	4,252	0
税金等調整前四半期純利益	2,128,348	555,043
法人税、住民税及び事業税	436,539	321,695
法人税等調整額	78,435	△209,077
法人税等合計	514,974	112,618
四半期純利益	1,613,373	442,424
非支配株主に帰属する四半期純利益	139	203
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,613,234	442,220

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	1,613,373	442,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	426,234	△594,854
為替換算調整勘定	△199,535	△551,973
その他の包括利益合計	226,698	△1,146,827
四半期包括利益	1,840,071	△704,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,839,946	△704,015
非支配株主に係る四半期包括利益	125	△386

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	384,869千円	409,047千円
のれんの償却額	19,010千円	12,023千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	1,559,606	18	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	1,386,316	16	2019年12月31日	2020年3月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	歯科製品関連	工業製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,986,515	931,341	351,821	8,269,679	—	8,269,679
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,986,515	931,341	351,821	8,269,679	—	8,269,679
セグメント利益	2,614,821	343,476	35,042	2,993,341	△1,182,131	1,811,210

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	歯科製品関連	工業製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,203,856	747,243	345,433	7,296,533	—	7,296,533
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,203,856	747,243	345,433	7,296,533	—	7,296,533
セグメント利益	1,885,717	270,685	33,762	2,190,165	△1,080,646	1,109,519

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	18円62銭	5円10銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,613,234	442,220
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,613,234	442,220
普通株式の期中平均株式数(株)	86,644,830	86,644,793
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	18円58銭	5円09銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	170,907	191,887
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月11日

株式会社ナカニシ
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安 齋 裕 二 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 辻 雅 樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ナカニシの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ナカニシ及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年5月11日
【会社名】	株式会社ナカニシ
【英訳名】	NAKANISHI INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 中西 英一
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	栃木県鹿沼市下日向700番地
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長中西英一は、当社の第69期第1四半期（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。